

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【公開番号】特開2018-131005(P2018-131005A)

【公開日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2018-032

【出願番号】特願2017-24700(P2017-24700)

【国際特許分類】

B 6 0 H 1/00 (2006.01)

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

B 6 0 H 1/34 (2006.01)

B 6 0 H 1/03 (2006.01)

F 2 5 B 21/02 (2006.01)

B 6 0 N 2/56 (2006.01)

A 4 7 C 7/74 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 H 1/00 1 0 2 V

B 6 0 H 1/32 6 2 1 G

B 6 0 H 1/32 6 2 1 A

B 6 0 H 1/00 1 0 2 J

B 6 0 H 1/34 6 5 1 A

B 6 0 H 1/03 C

F 2 5 B 21/02 J

F 2 5 B 21/02 K

B 6 0 N 2/56

A 4 7 C 7/74 C

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月14日(2019.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車室内のシート（50）に対して空調風を供給可能に配置され、

冷媒を圧縮して吐出する圧縮機（3）と、前記圧縮機から吐出された冷媒を放熱させて温風（WA）を生成する放熱部（4）と、前記放熱部から流出した冷媒を減圧させる減圧部（5）と、前記減圧部にて減圧された冷媒を蒸発させて冷風（CA）を生成する吸熱部（6）とを有し、前記放熱部における放熱と前記吸熱部における吸熱に関し、何れか一方に伴い他方が生じる冷凍サイクル（2）と、

前記冷媒との熱交換対象である送風空気を送風する送風部（7）と、

前記放熱部で生成された温風と、前記吸熱部で生成された冷風とを、前記シートに対する空調風として同時に供給すると共に、

前記放熱部で生成された温風と、前記吸熱部で生成された冷風とを、前記シートに対する空調風として夫々供給する空調風供給部（21、23、25、27、30）と、を有するシート空調装置。

【請求項 2】

前記空調風供給部は、前記温風と前記冷風を、それぞれ前記シートにおける異なる部位に対して供給する請求項 1 に記載のシート空調装置。

【請求項 3】

前記空調風供給部は、前記シートにおける背もたれ部（52）の上部に配置された上部吹出口（26）から前記冷風を吹き出させると共に、前記背もたれ部にて前記上部吹出口よりも下方に配置された中間吹出口（22、24）から前記温風を吹き出させる請求項 1 又は 2 に記載のシート空調装置。

【請求項 4】

前記空調風供給部は、前記シートの背もたれ部に配置された中間吹出口から前記冷風を吹き出させると共に、前記シートの座面部（51）に配置された下部吹出口（28）から前記温風を吹き出させる請求項 1 ないし 3 の何れか一つに記載のシート空調装置。

【請求項 5】

前記空調風供給部を制御する制御部（40）を有し、

前記制御部は、

前記シートにおける背もたれ部の上部に配置された上部吹出口から前記冷風を吹き出させると共に、前記背もたれ部にて前記上部吹出口よりも下方に配置された中間吹出口から前記温風を吹き出させる第 1 供給モードと、

前記中間吹出口から前記冷風を吹き出させると共に、前記シートの座面部に配置された下部吹出口から前記温風を吹き出させる第 2 供給モードと、の何れかに切り替えるように前記空調風供給部を制御する請求項 1 ないし 4 の何れか一つに記載のシート空調装置。

【請求項 6】

前記シートにおける前記座面部と車室床面（F）との間に配置される筐体（10）を有し、

前記筐体は、前記冷凍サイクルを構成する前記圧縮機、前記放熱部、前記減圧部、前記吸熱部と、前記送風部を収容している請求項 1 ないし 5 の何れか一つに記載のシート空調装置。

【請求項 7】

車室内のシート（50）に対して空調風を供給可能に配置され、

温度調整される送風空気を送風する送風部（65、66）と、

通電に伴い放熱して前記送風空気から温風（WA）を生成する放熱部（61）と、前記通電に伴い吸熱して前記送風空気から冷風（CA）を生成する吸熱部（62）とを有し、前記放熱部における放熱と前記吸熱部における吸熱に関し、何れか一方に伴い他方が生じる熱電素子（60）と、

前記放熱部で生成された温風と、前記吸熱部で生成された冷風とを、前記シートに対する空調風として同時に供給すると共に、

前記放熱部で生成された温風と、前記吸熱部で生成された冷風とを、前記シートに対する空調風として夫々供給する空調風供給部（21、23、25、27、30）と、を有するシート空調装置。

【請求項 8】

前記空調風供給部は、前記温風と前記冷風を、それぞれ前記シートにおける異なる部位に対して供給する請求項 7 に記載のシート空調装置。

【請求項 9】

前記空調風供給部は、前記シートにおける背もたれ部（52）の上部に配置された上部吹出口（26）から前記冷風を吹き出させると共に、前記背もたれ部にて前記上部吹出口よりも下方に配置された中間吹出口（22、24）から前記温風を吹き出させる請求項 7 又は 8 に記載のシート空調装置。

【請求項 10】

前記空調風供給部は、前記シートの背もたれ部に配置された中間吹出口から前記冷風を吹き出させると共に、前記シートの座面部（51）に配置された下部吹出口（28）から前記温風を吹き出させる請求項 7 ないし 9 の何れか一つに記載のシート空調装置。

【請求項 1 1】

前記空調風供給部を制御する制御部（４０）を有し、
前記制御部は、

前記シートにおける背もたれ部の上部に配置された上部吹出口から前記冷風を吹き出させると共に、前記背もたれ部にて前記上部吹出口よりも下方に配置された中間吹出口から前記温風を吹き出させる第１供給モードと、

前記中間吹出口から前記冷風を吹き出させると共に、前記シートの座面部に配置された下部吹出口から前記温風を吹き出させる第２供給モードと、の何れかに切り替えるように前記空調風供給部を制御する請求項 7 ないし 10 の何れか一つに記載のシート空調装置。

【請求項 1 2】

前記シートにおける乗員との接触面側にて温熱を発する補助加熱部（７０、７１）と、を有する請求項 1 ないし 11 の何れか一つに記載のシート空調装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記目的を達成するため、請求項 1 に記載のシート空調装置は、
車室内のシート（５０）に対して空調風を供給可能に配置され、

冷媒を圧縮して吐出する圧縮機（３）と、圧縮機から吐出された冷媒を放熱させて温風（ＷＡ）を生成する放熱部（４）と、放熱部から流出した冷媒を減圧させる減圧部（５）と、減圧部にて減圧された冷媒を蒸発させて冷風（ＣＡ）を生成する吸熱部（６）とを有し、放熱部における放熱と吸熱部における吸熱に関し、何れか一方に伴い他方が生じる冷凍サイクル（２）と、

冷媒との熱交換対象である送風空気を送風する送風部（７）と、

放熱部で生成された温風と、吸熱部で生成された冷風とを、シートに対する空調風として同時に供給すると共に、

放熱部で生成された温風と、吸熱部で生成された冷風とを、シートに対する空調風として夫々供給する空調風供給部（２１、２３、２５、２７、３０）と、を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

又、請求項 7 に記載のシート空調装置は、

車室内のシート（５０）に対して空調風を供給可能に配置され、

温度調整される送風空気を送風する送風部（６５、６６）と、

通電に伴い放熱して前記送風空気から温風（ＷＡ）を生成する放熱部（６１）と、前記通電に伴い吸熱して前記送風空気から冷風（ＣＡ）を生成する吸熱部（６２）とを有し、放熱部における放熱と吸熱部における吸熱に関し、何れか一方に伴い他方が生じる熱電素子（６０）と、

放熱部で生成された温風と、吸熱部で生成された冷風とを、シートに対する空調風として同時に供給すると共に、

放熱部で生成された温風と、吸熱部で生成された冷風とを、シートに対する空調風として夫々供給する空調風供給部（２１、２３、２５、２７、３０）と、を有する。